

— 新富士病院グループ —

医療法人社団博慈会

青葉さわい病院

AOBASAWAI HOSPITAL

INDEX

■ 院長プロフィール

■ メッセージ

■ 理念

■ ロゴマークの意味

■ 患者様の権利

■ 病院紹介

■ 主な受け入れ症例

■ スタッフ

■ 求める人材

■ 勤務地



医療法人社団博慈会

青葉さわい病院
理事長／院長

澤井 崇博

地域医療の貢献と、 職員の働きがい向上への挑戦

略歴

H7 東京慈恵会医科大学卒業

H9 東京慈恵会医科大学入学、その後同大学附属病院整形外科に入局

H17 青葉さわい病院勤務

H22 青葉さわい病院院長就任

資格

日本スポーツ協会公認スポーツドクター

地域医療の貢献と、職員の働きがい向上への挑戦

青葉さわい病院のある横浜市青葉区は、日本有数の長寿地域です。地域の皆様が最期まで安心して生活し、生きている喜びを感じていただけるように今後も地域に密着し、皆様が安心して生活できるよう、サポートをし続けていきます。

地域医療への貢献だけでなく、職員の得意・不得意分野に配慮したチームビルディングなど、職員の満足度向上にも力を入れています。

当院の役割は、他の急性期病院で治療を終えた後すぐに在宅に戻るのが困難な方を受け入れ、適切なリハビリや栄養指導を提供し、生活機能回復のお手伝いをすることです。急性期病院、在宅医療やクリニックの医師、施設、訪問看護ステーション、介護サービス事業所などと綿密に情報共有を行い、切れ目のない医療や介護を提供できるよう、日々努めています。



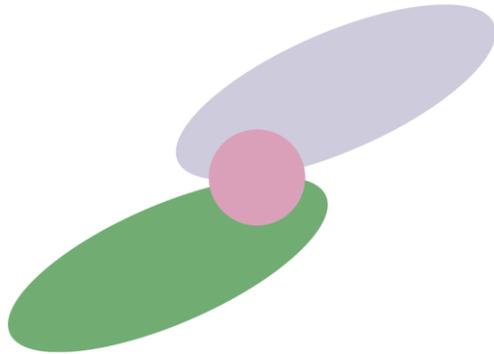
青葉さわい病院 基本理念

「思いやり」そして、「『生きている』喜び」を

医療・介護・行政機関と連携し生活機能回復に向けたサポートを

昭和60年、さわい病院として開院以来、整形外科専門の急性期・慢性期診療を行い、平成17年にあざみ野へ移転した当院。病床数を170床にまで増床し、名称を青葉さわい病院へと改めました。青葉さわい病院の役割は、他の急性期病院で治療を終えた後すぐに在宅に戻るのが困難な方を受け入れ、生活機能回復のお手伝いをする事。そのためにも、医療・介護・行政が連携して地域の方々の健康を守る「地域包括ケアシステム」を推進しています。日本有数の長寿地域である横浜市青葉区で、最期まで安心して生活し、生きている喜びを感じていただけるよう活動し続けます。

ロゴマークの意味



青葉さわい病院のロゴマークは、さわい（SAWAI）のSと病院（Hospital）のHをモチーフにした形であり、中央にある丸は患者さんを意味し、その丸の周りを当院スタッフや行政、ご家族が支えるというようなことを象徴したデザインです。

青葉さわい病院は、患者さまの権利を次のように考え、尊重します。

#1

国籍・宗教・社会的地位・病気の種類に関わらず、平等で適切な医療・看護・介護を受ける権利を有します。

#2

安全で安心できる体制のもとで医療・看護・介護を受ける権利を有します。

#3

病気や病状について、医師に説明を聞き、理解するまで話し合いを行ったうえで治療を選択し、決定する権利を有します。

#4

他施設への転出など療養環境を選択し変更する権利を有します。

#5

ご自身の診療内容について、診療録の開示など情報開示を求める権利を有します。

#6

個人情報やプライバシーは、十分に配慮され、厳正に守られる権利を有します。

病院紹介



昭和60年、さわい病院として開院以来、整形外科専門の急性期・慢性期診療を行い、平成17年にあざみ野へ移転した当院。病床数を170床にまで増床し、名称を青葉さわい病院へと改めました。青葉さわい病院の役割は、他の急性期病院で治療を終えた後すぐに在宅に戻るのが困難な方を受け入れ、生活機能回復のお手伝いをする事。そのためにも、医療・介護・行政が連携して地域の方々の健康を守る「地域包括ケアシステム」を推進しています。日本有数の長寿地域である横浜市青葉区で、最期まで安心して生活し、生きている喜びを感じていただけるよう活動し続けます。

診療科目

整形外科、リハビリテーション科、内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、糖尿病内科

許可病床数

170床（急性期一般14床、地域包括ケア26床、回復期リハ30床、医療療養100床）

外来

整形外科、内科を中心に、ひざ関節専門外来、足の外科専門外来、脊椎・脊髄専門外来、睡眠時無呼吸症候群専門外来、糖尿防専門外来、泌尿器外来などの診療をしています。

病棟

急性期から回復期、療養期、終末期まで、症状に適した治療や機能回復訓練を提供するケアミックス型の病院です。

訪問診療

横浜市青葉区を中心に、月1～2回の医師による訪問診療や、訪問リハビリテーション、訪問栄養指導などを行っています。

リハビリテーション

総勢50名のスタッフが在籍しています。急性期から慢性期まで様々な病状に対応しています。

設備

—

主な受け入れ症例

整形外科

ひざ関節専門では変形性膝関節症や前十字靭帯損傷、等。

また、新しい選択肢として患者様自身の血液から抽出した血小板の力を使って治療するPFC-FD療法も行っています。（自由診療）

・ひざ関節専門外来 ・足の外科専門外来 ・脊椎、脊髄専門外来

当外来では、最新の医療機器によって骨密度測定検査等を実施し、早期発見、予防、治療、治療経過、効果判断に役立てています。

内科

地域の「かかりつけ」として、呼吸器、消化器、糖尿病、循環器などの専門医が診察を行い、幅広い疾患に対応しております。

・睡眠時無呼吸症候群専門外来 ・糖尿病専門外来 ・泌尿器外来

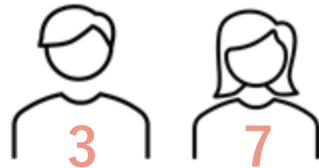
スタッフ



スタッフの人数

合計 **248人**

男女比



※男女比は男性：女性=3：7

医師17人、看護師・訪問看護師91人、介護職33人、薬剤師6人、臨床検査技師5人、診療放射線技師3人、理学療法士34人、作業療法士14人、言語聴覚士6人、リハビリ助手2人、管理栄養士2人、MSW3人、総合職2人、事務職・その他30人



■ リハビリ Y.M 2023年入職

スタッフのキャリアアップや成長支援に力を入れており、教育体制や研修が整っていて専門性を高めながら働くことができると感じました。また、入職前の見学にて、スタッフ間の人間関係が良好と感じた点は、非常に大きな魅力でした。実務で患者さまからお礼の言葉を頂く中で、患者の回復に直接貢献できると感じる事が、仕事の満足度へ繋がっています。新しい職場での環境や文化の変化が良い刺激となって、新たな物事に対する意欲が湧き、毎日が充実しているため転職してよかったと感じている。



■ 看護師 T.M 2024年入職

これまで急性期病棟で勤務しており、治療していく中で重症患者の病状が改善していく喜びはありましたが、病棟の特殊性や環境により業務に追われ患者・家族の思いを傾聴することや日常生活の援助が十分に行えていないことにジレンマを感じていました。青葉さわい病院は急性期・地域包括ケアが同じ病棟という事で、入院から退院まで一貫して患者を看ることができ、患者・家族の思いに寄り添いながら退院を見据えた看護ができると思い入職。今後は介護保険について学び、退院支援に活かしたい。いずれは訪問看護にもチャレンジしたいです。

こんな方歓迎します

- 患者さまとご家族に寄り添い、支えたい方
- チームで連携しながら仕事をしたい方
- 地域医療・地域包括ケアに興味がある方
- 思いやり・想いを大切にできる方
- 専門知識を活かしつつ対応の幅を広げたい方
- 外来診療・病棟業務に加えて訪問診療にも興味を持って頂ける方
- 子育てしながら働きたい、子育てを終えて復帰したい方
- 患者さまや職員と近い距離感の中で連携して働きたい方
- 急性期から慢性期まで幅広い業務経験を積みたい方

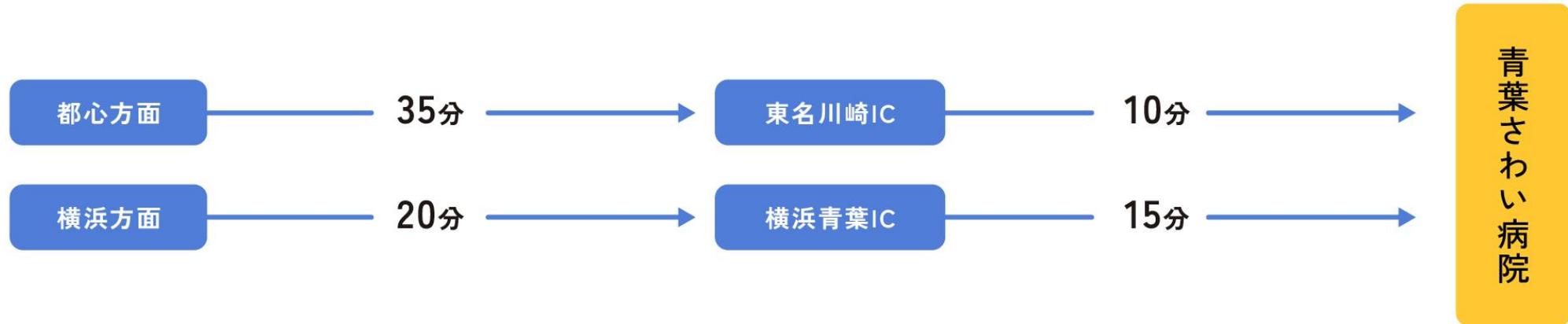


勤務地

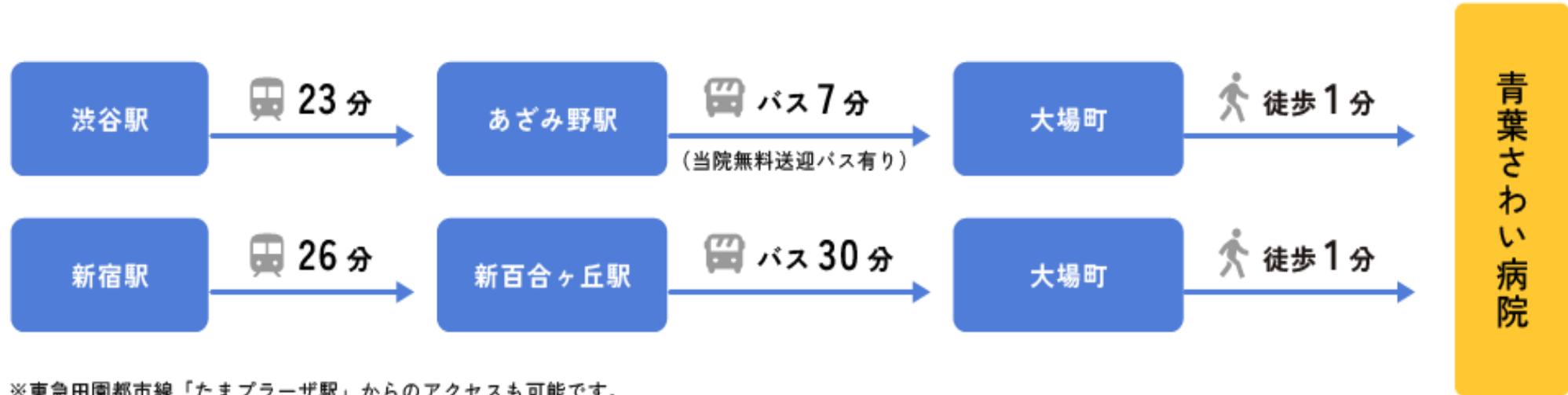
住所

神奈川県横浜市青葉区元石川町4300

車でのアクセス



公共交通機関でのアクセス



※東急田園都市線「たまプラーザ駅」からのアクセスも可能です。

